

## インフルエンザ A 型(H1N1)に関する最新情報

北マリアナ諸島連邦政府はインフルエンザ A 型(H1N1)に関し、5月19日(火)現在、感染者及び感染疑いのある発症者は確認されていないと発表致しました。

北マリアナ諸島では、新型インフルエンザの問題が発生直後に、関係各政府機関で構成された対策委員会を編成、インフルエンザ A 型(H1N1)の緊急対策を発動し、警戒態勢を強めて参りました。現在、空港では入国審査終了後、世界保健機構(WHO)、疫病対策センター(CDC)からの情報、協力をもとに北マリアナ保健省が作成した新インフルエンザの注意事項と発熱などの症状がある場合の連絡先を明記した案内書を配布すると共に、島内侵入を防ぐ警戒措置として、ヘルスデスクを設置し、保健省のスタッフが入国時の問診を行っております。

北マリアナ諸島では観光、地元でのイベントなど通常どおり行われており、安心してご訪問を楽しんで頂いております。

(写真は5月中旬にサイパンにて撮影されたものです)



テイストオブマリアナ(現地イベント)



北部観光



ソフィアウォーク(ウォーキングイベント)